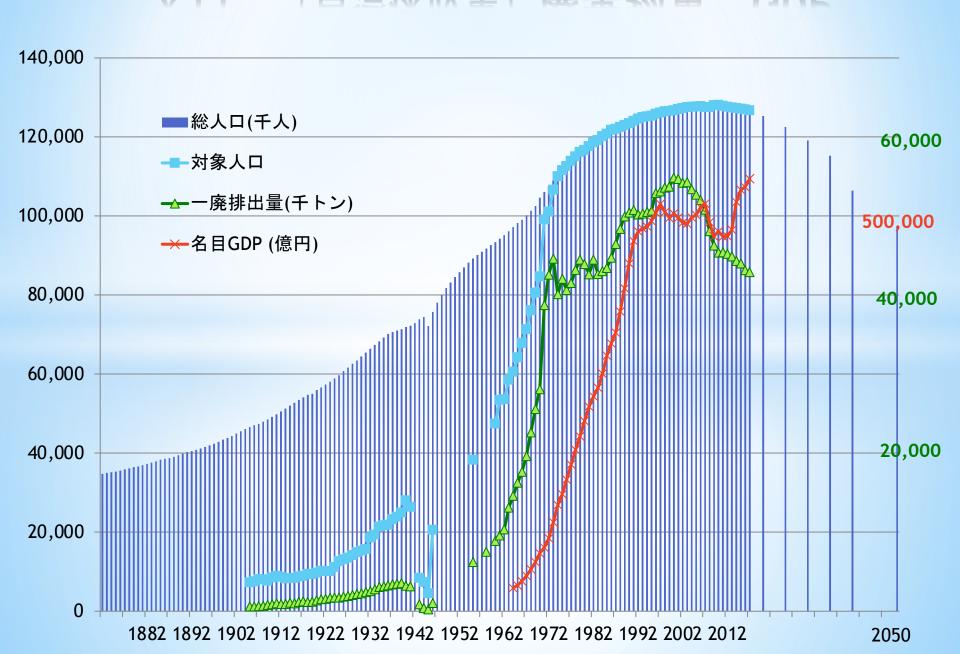
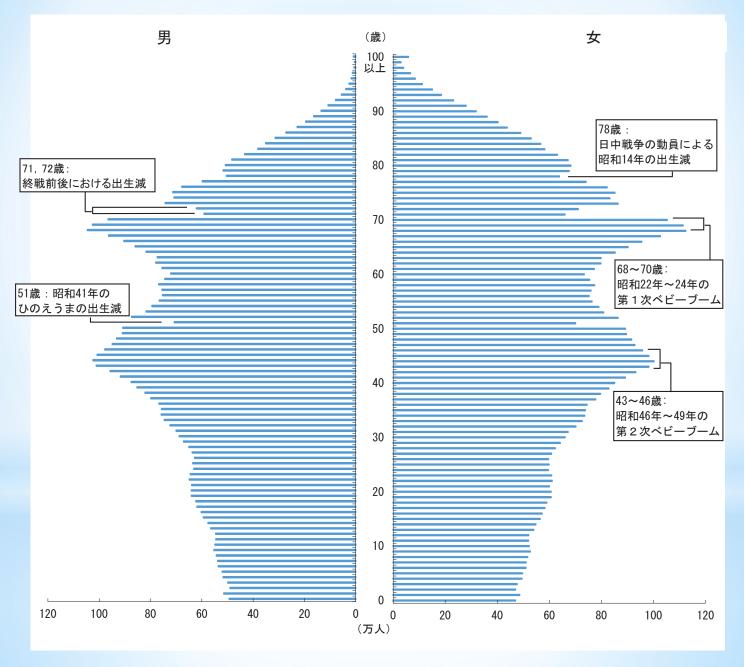
2019行政研究部会

- 1. 高齢化に伴う収集現場の変化
- 2. 民間委託の進展と行政の役割
- 3. 外国人労働者の増加をどう捉えるか

人口、(自治体収集)廃棄物量、GDP



3 我が国の人口ピラミッド (平成29年10月1日現在)



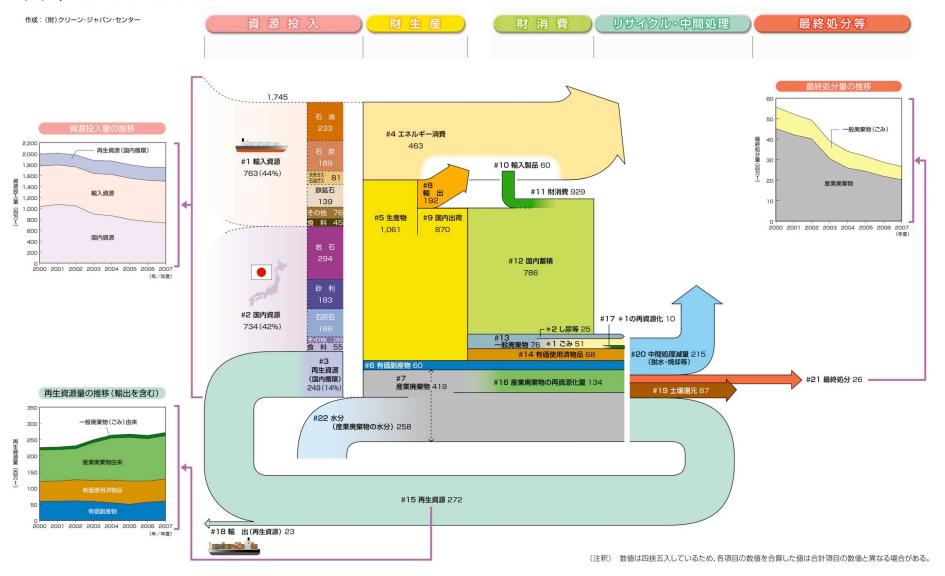
1 日本のマテリアルバランス 2016

1 日本のマテリアルバランス 2016 単位:百万t 作成: 一般社団法人 産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター リサイクル・中間処理 最終処分等 1,474 石 油 #4 エネルギー消費 2,000 445 20 一般廃棄物(ごみ) 1,800 再生資源 (国内循環) #10 輸入製品 61 1,600 #1輸入資源 1 400 天然ガス・94 712 (48%) #11 財消費 734 1,200 産業廃棄物 童 1,000 鉄鉱石 輸入資源 130 800 #5 生産物 #9国内出荷 600 その他 62 672 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 1 食料 42 400 国内資源 200 岩石 #12 国内蓄積 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 622 砂利 #17 ごみの再資源化 9 #2国内資源 551 (37%) ┌*2 し尿等 21 #13 一般廃棄物 64 *1 ごみ 43 その他 32 食 料 48 #14有価使用済物品 48 #20 中間処理減量 204 (脱水・焼却等) #3 #6 有価副産物 57 再生資源 #21 最終処分 14 (国内循環) #16 産業廃棄物の再資源化 127 産業廃棄物 387 再生資源量の推移(輸出を含む) 210 (14%) #19 土壌還元 79 350 #22 水分 300 (産業廃棄物の水分) 232 -般廃棄物(ごみ)由来 200 産業廃棄物由来 150 #15 再生資源 241 #18 輸 出(再生資源)31 注 釈 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 ◇各項目番号 (例:#1、#2等) は後述の「日本のマテ リアルバランス2016 詳細と出典、定義等」の項目 番号に対応している。

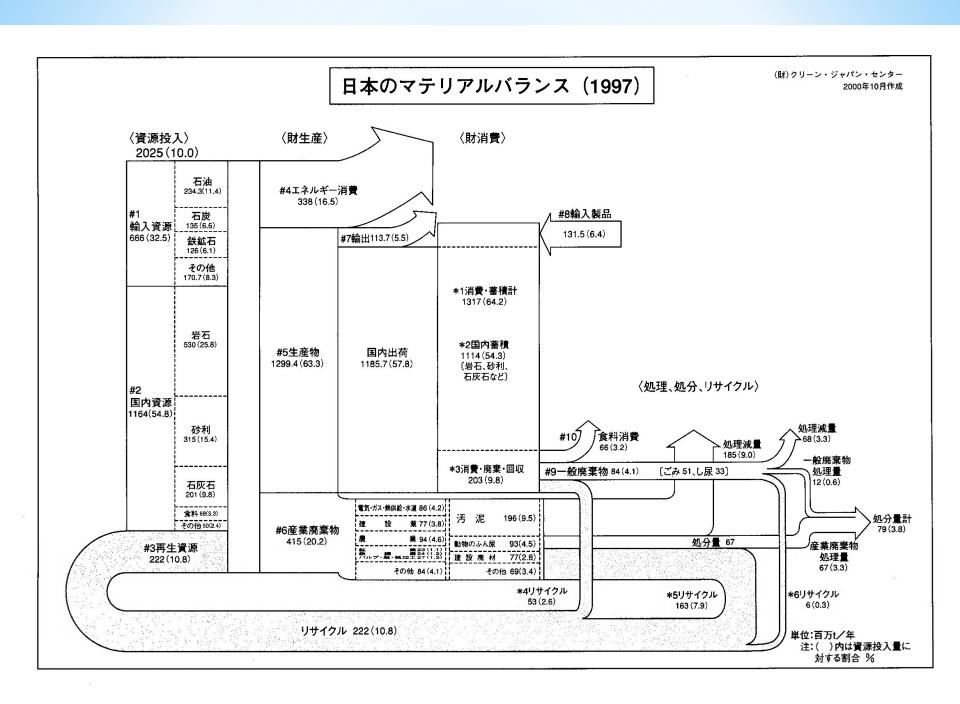
2 リサイクルデータブック 2019 3

単位:百万 t

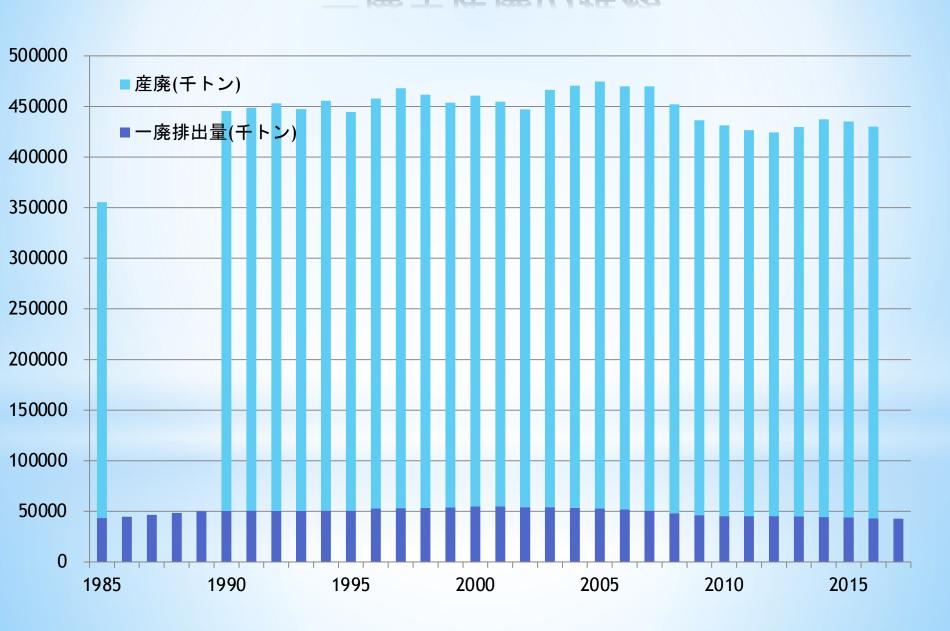
日本のマテリアルバランス 2007



02 日本のマテリアルバランス 2007 **03**



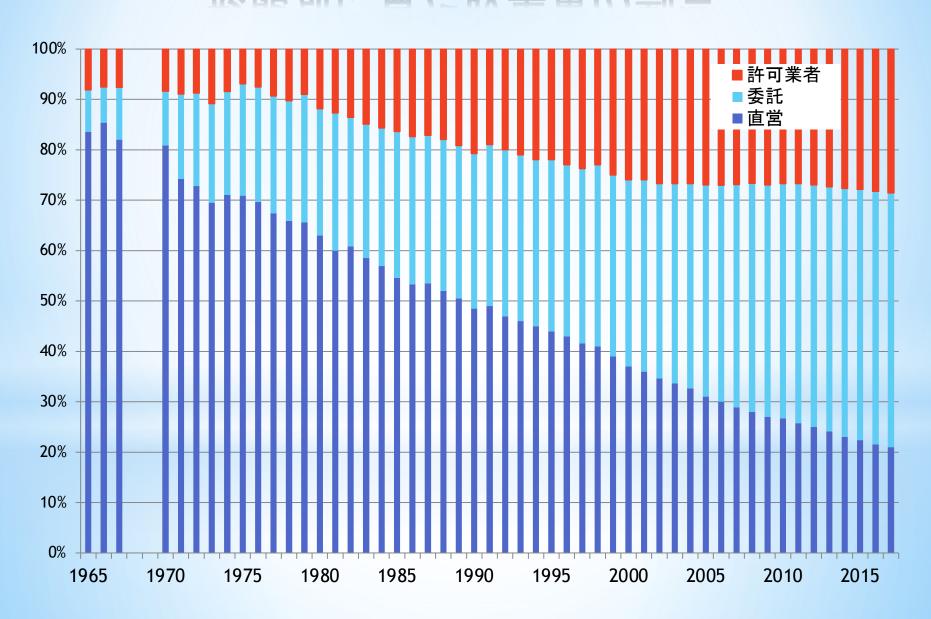
一廃十産廃の推移



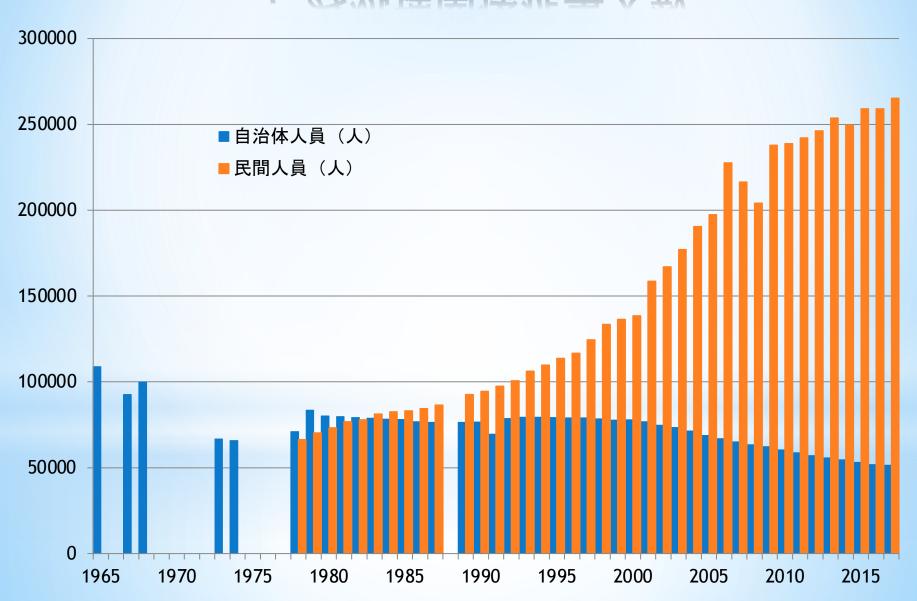
ごみ処理経費と地方自治体歳出計に占める割合



形態別に見た収集量の割合



ごみ処理関係従事人数



外国人雇用状況の届出状況

